

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 7月10日（水）

2 確認箇所

- ・ 1号機タービン建屋東側
- ・ 1号機原子炉建屋上部（1 / 2号機開閉所東側から確認）

3 確認項目

1号機ミスト散水設備空気圧縮機の不具合への対応状況

4 確認結果の概要

1号機原子炉建屋最上階（以下、オペレーティングフロア（オペフロ））には、水素爆発によって崩落した屋根等が残されており、平成30年1月22日からオペフロ上のガレキ撤去作業が行われている。

ガレキ撤去作業中にダストが飛散し、オペフロダスト濃度警報設定値（ $5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ ）を超えた場合、ダスト飛散を抑制するためにミスト散水設備を用いてオペフロ上に緊急散水する手順となっているが、6月8日にミスト散水設備空気圧縮機に不具合が発生したことから、東京電力から対応状況等を聴取するとともに現場状況を確認した。なお、ミスト散水設備が使用不可の場合はオペフロ上のガレキ撤去作業は実施しない手順となっている。

（聴取内容）

- ・ ミスト散水設備空気圧縮機は3系統あり、2系統運転でミスト散水が可能な設備であるが、6月8日に空気圧縮機A系に故障警報が発生した後、B系とC系でミスト散水設備を運用していたが、6月22日にC系も不具合により停止したため、ミスト散水不可と判断した。
- ・ A系については、制御用スイッチ等の腐食を確認したため、当該部品を交換し、復旧したことから、7月4日にA系とB系の運転によりミスト散水が可能となった。なお、C系についても、現在、同一部品の交換作業を実施している。
- ・ 1号機原子炉建屋オペフロ上のガレキ撤去作業の工程に今回の機器不具合は影響しない。

（現場確認結果）

- ・ ミスト散水設備空気圧縮機は1号機タービン建屋東側に設置されており、現場確認時はC系の部品交換が行われていた。なお、A系は運転中、B系は待機となっており、ミスト散水が可能な状況であった。（写真2）

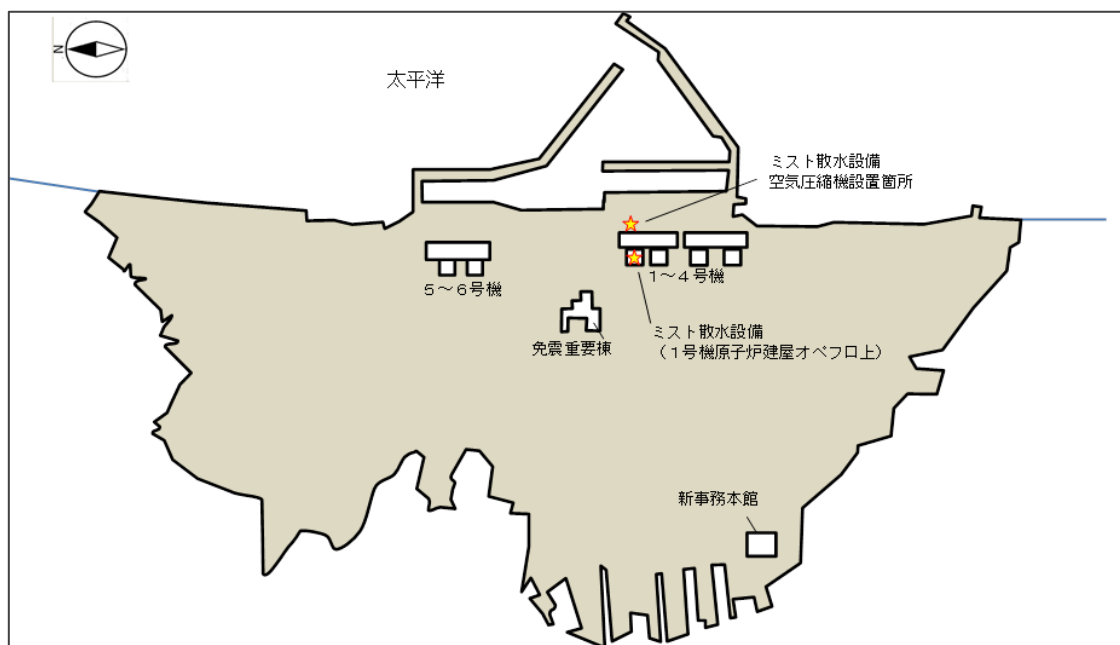


図1 1号機ミスト散水設備空気圧縮機設置箇所概略図



(写真1)
本日確認した1号機原子炉建屋上部の様子



(写真2)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。